



高大連携トピックス① 高大連携教育研究会

高大連携教育研究会で「2030SDGsゲーム」開催

高校の先生方とSDGsを体感！湘北短期大学で「高大連携教育研究会」を開催

湘北短期大学は、9月2日(火)に「第25回高大連携教育研究会」を開催しました。本学と高大連携協定を締結している高校から12校の先生方をお招きしました。研究会では本学の学生・教職員とともにSDGsを体感するカードゲームを通して、未来の教育について考えました。

この研究会は、高校と大学双方の教育の質向上を目指し、2015年から年2回開催しているものです。今回は、SDGs教育の推進をテーマに、一般社団法人イマココラボの「2030SDGsゲーム」を全員で体験しました。

当日は、本学の学生たちがイベントスタッフとして運営をサポートしました。受付や会場案内だけでなく、ゲームにも参加しました。ゲームが始まると、参加した高校の先生方や本学教職員、そして本学学生がチームを組み、意見を交換します。与えられたミッションを達成するために、最初はチームの利益を優先していましたが、「世界の状況メーター」が示す環境や社会の悪化に気づくと、積極的に他チームと交渉・協力し、世界全体の状況を改善しようと奔走する姿が見られました。学生、高校の先生方、大学の教職員が意見交流し、ゲームは大いに盛り上がりました。最終的に、参加した全12チームが目標を達成し、経済・環境・社会のバランスがとれた理想的な世界を創り出すことに成功しました。振り返りも含めて学びの多い時間でした。

湘北短期大学は、今後もこのような機会を通じて、高校と大学の連携を深めるとともに、次世代を担う若者たちへのSDGs教育の実践と普及に積極的に取り組んでまいります。



研究会を終えて

参加された先生方からは、「ゲームを通してSDGsの本質的な理解が深まった。ぜひ高校でも取り入れたい」「目標と指標が可視化されることで、自発的な行動に繋がることを実感した。今後の教育活動のヒントになった」といった嬉しい感想を多数いただきました。

また本学学生にとっても高校時代にお世話になった先生と本学とともに学ぶという貴重な機会となりました。



高大連携トピックス② 授業でつながる高等学校と湘北短期大学

金融教育の実践に関する講演会

金融教育の実践に関する講演会

2025年10月3日金曜日神奈川県立小田原東高等学校 視聴覚室にて金融教育の実践に関する講演会が開かれ、本学総合ビジネス・情報学科教授の加藤美樹雄が講演いたしました。

小田原東高校はシチズンシップ教育に係る研究の研究指定校であり、3年間にわたる研究主題を「よりよい社会と未来へのつながりを意識し、時代に合致した感性を併せ持つ主体を育てる」としています。主題後半部分の「時代に合致した感性」の具体的項目として「金融リテラシー」を位置付けております。今回の講演会では本学の研究実践を通じて、金融の個別分野や教育方法、特にファイナンシャルプランニングについて解説いたしました。

今後も本学と同校との教育での接点を模索していきたいと考えております。また、多くの高等学校と実践事例や効果を共有することで、新しい時代のシチズンシップ教育を共に作り上げていければと考えています。



湘北短期大学と金融教育

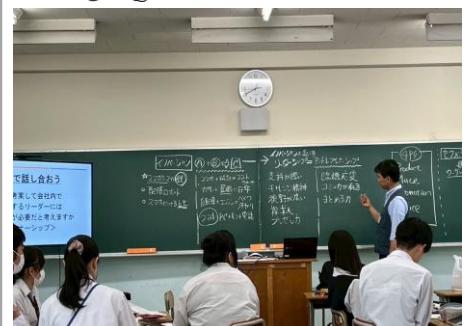
本学の金融教育への取り組みは学生たちによって地域にも拡がっています。2025年9月3日(水)には本学学友会財務部門と加藤ゼミで厚木市立毛利台小学校を訪問し、5年生を対象に金融教室を行いました。授業では、給与から税金が引かれたり、電気代や通信費などの生活費がかかることなど、お金の現実的な側面についての解説に加え、金融商品についても触れながら「リスク」についても、全員で考えました。

出張授業

湘北の多彩な学びを高校の教室で

湘北短期大学では、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科すべてでオーダーメイドの出張授業を実施しています。未来の働き方、キャリア教育、SDGs、金融リテラシー、児童福祉、子どもの発達、子どもの遊びなど、多様なテーマで授業を行うことが可能です。各校様のご要望に応じて時間設定など柔軟に対応いたしますので、内容、時間、人数など含めて是非ご相談ください。今年度もすでに多くの高校様にて出張授業を実施させていただきました。

(右の写真は 相模原城山高校での様子です)



【今年度実施させていただいた出張授業テーマ(一部)】

「SDGsに関する授業」「FPのお仕事」「半導体の利用について」「イノベーションと戦略」「生成AIを活用したレポート作成講座」「実験で学ぶ食品と調理」「まぜいろで心をえがこう」「子どもの運動あそび」「食に関する職業と資格を知る」等

高大連携トピックス③ イベントでつながる高等学校と湘北短期大学

湘北祭への高校生の参加

2025湘北祭が開催されます

今年のテーマは「Magic～魔法のようなひとときを、あなたに～」です。今年度は2025年10月18日(土) 10月19日(日)の二日間行われます。



連携校・中央農業高校の出店

湘北祭には学内の学生だけでなく、中央農業高校からの出店も行われます。この取り組みは、高大連携活動の一環として行われています。昨年度は、同校食品加工部に所属する生徒が来校し、日頃の実習で製造したジャム、焼き菓子、乾麺、味噌といった加工品から、アイガモ米や新鮮な卵まで、人気の「中農ブランド」商品を販売しました。

年間を通して各地の販売会で活躍する生徒たちは、早朝からの商品搬入、陳列、接客・会計まで業務を遂行しました。途中、焼きたてのパンが追加納品されると、来場者が次々と買い求め、何度もリピートする姿も見受けられました。販売会場となったキャンパスレストランは終日活気に満ちておりました。

今年度は発足したばかりの合唱同好会が高校生と歌う企画を準備しております。本学では、今後もこうした連携校との交流を深めて参ります。



上の写真は昨年度の商店です。今年度は10月19日(日)に食品加工部の生徒さんが来校され、焼き菓子やパンなどを出品する予定です。

高校生が審査員！ビジネスコンテスト

2025年7月12日の土曜日、本校の611教室にて2年生によるビジネスアイデアコンテストが開かれました。ゼミナールでの代表に選ばれた4チームからは、新しい映画館、斬新な防災グッズ、そして教員不足への対応策を含む多彩なアイデアが報告されました。

今回その審査員を、当日オープンキャンパスにいらっしゃった高校生の皆さんにお願いしました。また高校の先生方にも来ていただき、審査をお願いしました。来年度以降、さらに高校の皆様との連携を深めた企画にできればと考えています。



保育入門講座

「高校生のための保育入門講座」を開催

5月24日(土)、高校生を対象とした「保育入門講座」を開催いたしました。この講座は、高校生の皆さんに大学での学びを体験してもらいながら、保育の世界の奥深い魅力を感じてもらうことを目的としています。

当日は、以下の2つの講座を開講しました。一つは「赤ちゃんとのかかわり方を学ぼう」です。発達心理学の知見に基づき、ふれあい遊びやお世話の仕方といった乳児との具体的なかかわり方を学びました。もう一つは「おもしろい身体表現あそび」です。人と関わる中で自然に生まれる多様な身体表現を、参加者全員で大笑いしながら体験しました。

今回は23名の高校生が参加し、本学保育学科の2年生6名が授業のサポート役として活躍してくれました。参加した高校生からは、「すごく楽しかった、保育って楽しい！」「湘北で学びたい気持ちがさらに強まりました」「はじめは緊張しましたが、先輩が優しくて授業もとても楽しかったです」といった嬉しい感想が寄せられました。

次回の開催は2026年2月14日(土)を予定しております。保育に興味のある高校生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。



学生の活躍に注目を！

湘北短期大学には学校行事などを運営する委員会等の組織が多数あり、学生の多くはそのいずれかに所属しています。また、オープンキャンパスでは各学科の有志メンバーが学生ナビゲーターとして、当日の運営から高校生対応までの業務をこなしています。2年間という短い時間ですが、多くの学生が課外活動でも活躍しております。学生たちが高校の先生方を訪ねた際には、湘北短期大学での活躍を激励頂ければと思います。



湘北短期大学 地域連携センター

〒243-8501 神奈川県厚木市温水428
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667
E-mail:sr-center@shohoku.ac.jp
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>



高大連携通信 Vol.29

発行日:2024年10月**日

発行元:学校法人ソニー学園
湘北短期大学
地域連携センター